

**入札監理小委員会における審議の結果報告**  
**「国際交流基金 JF-NET 運用管理支援等業務」**  
**に係る実施要項の変更案について**

独立行政法人国際交流基金の「JF-NET 運用管理支援等業務」については、公共サービス改革基本方針(別表)において、民間競争入札を実施することとされており、入札手続が進められていたが、入札不調となったことから、再度公告入札を行うため、当該民間競争入札の実施要項の変更案について入札監理小委員会にて審議したので、その結果を以下のとおり報告する。

**1. 入札結果及び再度公告入札実施の経緯**

「JF-NET 運用管理支援等業務」の民間競争入札においては、1者の入札参加があったが、予定価格の制限に達する応札ではなかったことから、直ちに2回目の入札を実施した。しかし、更なる参加者が見込めないことから途中で入札を打ち切り、入札不調となったものである。入札後、応札者に対し不落随契による交渉の可能性を確認したが、対応困難である旨の回答がされたところである。このような状況を踏まえ、国際交流基金では、再度公告入札を実施することとしている。

**2. 再度公告入札に向けた見直しについて**

再度公告入札を実施するに当たり、国際交流基金では入札説明会参加者及び応札者へのヒアリングを実施した。それを受け、民間競争入札実施要項案について以下の変更を行いたい旨の説明が国際交流基金よりなされ、入札監理小委員会では妥当な変更案であると判断した。

(1) 入札参加資格要件の緩和

「JF-NET と同等規模以上(中略)の運用支援業務を請け負った実績があること」を要件としていたが、入札説明会参加者の回答を踏まえ、規模の要件を削除し、「本業務と種類を同じくする(中略)運用支援業務を請け負った実績」があれば、入札参加を認めることとした。  
(実施要項案 通し番号 p.8、p.29、p.66)

(2) 契約期間の延長

落札者が契約期間を通じた利益の増大を見込めるよう、契約期間を 36 か月から 44 か月へ延長した。  
(実施要項案 通し番号 p.7)

(3) 追加説明の記載

応札者に誤解を与えていた点を踏まえ、本件業務ではプロジェクト・マネジャーの参画は想定していないこと、本業務はシステム等の保守業務ではない旨を明記した。  
(実施要項案 通し番号 p.20、p.26)

(4) 時間の経過に伴う修正

データセンターの統合、及び入札実施要項標準例の改定に伴う業務引継条項の見直し等を反映した。(実施要項案 通し番号 p.5、p.7、p.16、p.37、p.41、p.49、p.51-52)

以上